



岐阜北週報

12月

家族 月間

<input type="checkbox"/> 題 字	永瀬 章	<input type="checkbox"/> 会 長	永瀬 章	
<input type="checkbox"/> 例 会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	塚原 進	2008-2009
<input type="checkbox"/> 会 場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹 事	岡田 忍	No.1284
		<input type="checkbox"/> 委員長	山口 八郎	08.12.03 発行

前回の記録

第 1284 回例会 11/26 (水)
クラブアッセンブリー (5)
地区大会報告
担当：会長・幹事

本日の予定

第 1285 回例会 12/3 (水)
慶祝行事
クラブフォーラム (7)
担当：クラブ奉仕(家族)委員会

次回の予定

第 1286 回例会 12/6 (土)
クリスマス家族会
(10日繰り上げ)
担当：親睦交流委員会

会長挨拶 【永瀬 章 会長】

11月15・16日の地区大会に多数の皆様、ご出席ご苦勞様でした。いつもと一味違う大会でした。指導者育成セミナーでは、くじ引きで席が決まり、セレモニーの後、各テーブルでは、我がクラブの今後の活動について、テーブルディスカッションが行われました。どのクラブも会員数の減少が問題で、活動の絞込みを考えねばとのことでした。16日の全体会議では「ロータリアンにとっての環境問題」として、3人のパネラーによるディスカッションがありました。なかなか面白い切り口による討論でした。二日間、有意義な時を過ごすことができました。

また、11月23日には岐阜北 RC カップ 2008 バレーボール大会の4年生大会が行われました。我がクラブとしては、10周年を記念してはじめられ、息の長い活動で地域に根付いてまいりました。決勝戦、表彰式と参加させていただき、子供達の元気なプレーを観戦して、改めてこの事業は、我がクラブの看板事業として、さらに20年30年と続けていかなければと、感じました。

最後に、若松学園から11月2日に行われた学園祭参加に対し、お礼状が参っています。報告して、会長挨拶とします。時節柄、風邪などひかないようお過ごし下さい。

出席報告 【会員数 37 名】

出席者：31名
出席率：31/37=83.78%
欠席者：6名
(欠席免除3名) 91.89%

ニコニコ BOX (敬称略)

小泉 宣昭

委員会報告

- 会計
補正予算(内容)提出の御願い

次回例会のご案内 12/6 (土)
クリスマス家族例会
担当：親睦交流委員会

第2630地区大会報告（長良川国際会議場：都ホテル）

11月15日（土）

「指導者育成セミナー」と新会員研修セミナー

11月16日（日）

シンポジウム「ロータリアンにとっての環境問題」

永瀬会長：地区大会報告

11月15・16日も両日に行われた地区大会の報告をさせていただきます。

初日の15日には、指導者育成セミナーに参加しました。恒例の式典が行われた後で、テーブルディスカッションとなりました。「わがクラブの今後の活動について語る」というタイトルでした。くじ引きで着席した私のテーブルでは、どのクラブも会員数の減少が問題で、クラブとしての活動に様々な制約が出てきているとのことでした。ロータリーの活動は通常、単年度事であるが、我がクラブでは息の長い事業として、本日も友愛の広場にパネルを展示してある、地域の子供たちのバレーボール大会の支援を、18年間続けていることを発表しました。

また、二日目の全体会議でのパネルディスカッションでは、「ロータリアンにとっての環境問題」というタイトルで、3人のパネラーによるディスカッションがありました。CO2をいかに削減するか、もう手遅れだとの過激な発言があったり、軍縮問題からの切り口などありましたが、皆が豊かさの限界を知る中で、日々小さなことの積み重ねも必要で、家庭で出来る身近で具体的な取り組みを探らねばならないと、まとめられました。有意義な二日間でした。

《新会員の一言》

- ・ 陰田正男新会員…環境問題は身近で大きな課題として取り組む必要を感じた。
- ・ 西垣康紀新会員…盛大な地区大会のこだわり、会場の動員、運営、組織力はさすがと思った。
- ・ 小泉宣昭新会員…ロータリーの深さを何となく分かったような気がする。和気あいあい気楽に勉強できた。

※大会プログラム・コメントは何れも抜粋

担当／クラブ会報委員会 後藤 保